

# さかい輪

かわら版

第37号

坂井輪中学校区まちづくり協議会だより

## モリスバ子どもの居場所づくり

● 福祉部

昨年は新型コロナウイルスにより子ども食堂を中止しましたが、今年は試行錯誤の上再開しました。マスクの着用、手洗い、テーブルの消毒、人数制限、横、対面にパーテーションをしました。小学校が夏休みに入り、モリスバ子ども食堂で過ごす時間と出来上がったばかりの手作りの食事は、子供たちにと



り楽しかったのではないかと思います。大学生のボランティアさんに協力頂きました。

### ーボランティアで参加しましたー

#### 新潟大学レホームの学生からの一言

私たち大学生は、子ども食堂の活動において子どもたちの居場所づくりに取り組みました。子どもたちの面倒を見るのはもちろん、食後はピンゴなどのレクリエーションを私たちが企画して一緒に遊んだりするなど、子どもたちが楽しい時間を過ごせるように考えながら活動に臨みました。コロナ禍でも、子どもたちの楽しそうな姿をたくさん見ることができて、私自身も元気を貰いました。



## 令和3年度 区政懇談会 開催

6月12日（土）に笠原西区長にご出席いただき、区政懇談会が行われました。

区長から、区政に対するご理解・ご協力への御礼があり、その後、まちづくり協議会からの地域課題について下記の通りのご回答を頂きました。



### ■ 提起した地域課題と区役所からの回答（要旨） ■

**課題(1)：**JR越後線新潟大学前駅ガード下通路のエレベーター設置要望の進捗の確認と大堀幹線道路の振動について

**区の回答：**新潟大学前駅ガード下エレベーターは今年度早期に工事手法などの課題を把握し、予算を要求していく。

また、大堀幹線の新通小から内野方面の振動については、道路の舗装厚は10cmある。通常地盤が弱い場所では、年数経過とともに道路が沈下し、下水道管やマンホールが表面に浮き出ることがあるが、ご指摘の場所では浮き出していない。このことから道路と地盤は安定していると考えられるが、舗装を広く修繕し振動を軽減させていく。

**課題(2)：**西川左岸堤防遊歩道の補修整備について

**区の回答：**小針・小新方面の西川沿い左岸堤防は、緑地公園として遊歩道と併せて整備を行った。一方、亀貝橋以西は緑地整備を行えるほどの用地はなく、遊歩道のための整備となっている。新たな緑地整備は困難であるが、事業の可能性を考えていきたい。

**課題(3)：**地域避難所の運営と地域住民への周知について

**区の回答：**市では「避難所運営委員会」の立ち上げを推奨しており、西区内では10か所の避難所で設立をされてい

る。マニュアルやルール作りの検討をして、検討結果を各自治会の世帯へフィードバックする流れを支援していく。

**課題(4)：**各個別防災組織と避難行動要支援者制度について

**区の回答：**避難行動要支援者制度の重要性を広く周知するために、防災関係の講習会などを活用していく。また、地域によって事情が異なることから、地域からの依頼があれば担当職員を派遣し、地域の状況に合わせた説明をしていく。



## 夏の防犯・交通安全活動の実施

● 防犯・交通安全部

子ども達が夏休みに入る時期を迎えるとともに、「夏の交通事故防止運動」期間中の7月下旬に3回に分けて次の活動を実施しました。



①「交通安全のぼり旗」による街頭広報活動



②商業施設駐車場における盗難予防と子どもの車内放置の確認パトロール



③商業施設利用者に対するチラシ、夜光反射シール等の配布



④駅前輪場における無施錠自転車に対する鍵かけを呼びかけるチラシの取り付け

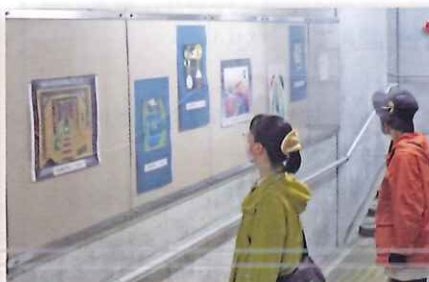
## 16年目となる寺尾地下道絵画展示活動

● 文化・スポーツ部

JR越後線寺尾駅より約800m内野駅側にある寺尾地下道に地域の子どもたちが画いた絵画を展示する活動をして16年目となりました。

地域の保育園・幼稚園(5園)、小学校・中学校(4学校)の9団体から絵画展示のご協力を頂き、2ヶ月ごとに展示交換を行っています。

地下道を利用される学生からは、地下道が明るくて安心して通行ができる、また一般の方からはとても絵が上手であり、年代による子どもの成長が感じられ地下道の雰囲気や和むなどの好評を頂いております。



今後も地下道の利用者が安心して通行でき、子ども達の成長を知っていただくなどのため続けていきたいと思っています。

通年展示しておりますのでご覧になって下さい。